

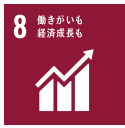



所属・職位	福祉健康科学部 福祉健康科学科 社会福祉実践コース・准教授	
氏名	三好 禎之 (Miyoshi Yoshiyuki)	
取得学位	博士 (社会福祉学)、日本福祉大学、2018年9月	
SDGs目標	  	
研究分野	社会福祉学 生活構造論 内発的発展論	
研究キーワード	健康寿命の延伸 社会的関係資本 ノルディック・ウォーク 生活構造 内発的	
研究内容	<p>—研究分野—</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.公害被害者世帯の生活構造研究 2.公害被害者世帯地域の内発的発展に関する研究 3.公民学連携事業による健康寿命延伸施策と生活保障に関する研究 <p>—研究分野1,2の紹介—</p> <p>高度経済成長期に顕在化した四大公害問題を主に研究しています。なかでも、公害被害者世帯の生活構造がいかに破壊され、階層落層、階層転落が生じたのか。また、内発的な力によって窮乏化の状況をどのように脱したのか、ライフヒストリー法により実態を探索し、生活再建に必要な施策を研究しています。</p> <p>—研究分野3の紹介—</p> <p>健康寿命の延伸と社会的関係資本を運動によっていかに延伸させつつ、地域で福祉的効用を高めることができるのかを研究しています。現在、大分県内4市と宮城県1市でノルディック・ウォーク教室を開催しつつ、健康寿命の延伸と社会的関係資本の醸成にかかる研究に取り組んでいます。</p>	
研究業績・アピールポイント	<p>○「水俣病多発地域における被害者の生活保障と支援団体に関する研究—ライフヒストリー分析を通して」 日本福祉大学博士論文 2018</p> <p>○「ノルディック・ウォークを用いた体力向上に関する研究—豊後高田市におけるパネル調査—」 『福祉社会科学』 大分大学大学院福祉社会科学研究所 2021</p>	